

なよたけ

情報版

2022.10.1

no.28



下田歌子記念女性総合研究所 所蔵

実践桜会行事日程

令和4年

- 4/1(金) 「那与竹」85号発行
5/15(日) 定時総会・懇親会
(於:セルリアンタワー東急ホテル)
6/19(日) 実践桜会国際交流基金奨学生選考委員会(書類選考)
7/2(土) 実践桜会奨学生選考委員会(面接選考)
7/3(日) 実践桜会国際交流基金奨学生選考委員会(面接選考)
7/31(日) 実践桜会奨学金・国際交流基金奨学金給付説明会
8/8(月)~8/16(火) 実践桜会会館夏期休館

- 9/17(土)18(日) 中高ときわ祭(Sakuraショップ)
10/1(土) 「なよたけ情報版」第28号発行
10/8(土) 学祖祭(於:実践桜会会館)
10/8(土)9(日) 大学・短期大学部「常磐祭」(渋谷キャンパス)
協賛金贈呈・桜会賞授与
10/29(土) 秋季運営委員会(於:実践桜会会館)
第1回実践桜会奨学生・国際交流基金奨学生交流会
11/1(火) 九州支部交流会(於:熊本)
11/12(土)13(日) 大学・短期大学部「常磐祭」(日野キャンパス)

- 協賛金贈呈・桜会賞授与
11/19(土) 実践キャリアネット第1回セミナー開催
12/26(月)~1/5(木) 実践桜会会館冬期休館
令和5年
1/8(日) 初春歌舞伎観劇会(於:国立劇場)
3/4(土) 第2回実践桜会奨学生・国際交流基金奨学生交流会
4/1(土) 「那与竹」86号発行
5/21(日) 定時総会・懇親会
(於:セルリアンタワー東急ホテル)
(令和4年7月現在)

Message

グローバル化と語学学習



実践女子学園理事長
山本 章正

明治の文豪の夏目漱石が、英語教師をしていた頃の有名な逸話です。授業で「I love you」を「君を愛おしく思う」と訳した学生に、「日本ではそんな言い方をしない。『月が綺麗ですね』という方がよい」と、指導したと言われています。

明治という時代背景を考えれば、直訳よりも、奥ゆかしさを大事に、思い切り意識する方が、読み手の共感を得られると考えた結果でしょう。

さて、時空を現在に戻してみると、英語の文献はカメラ翻訳、海外旅行には通訳アプリと、IT技術の急速な進歩で、誰でも簡単に英語を使える便利な世界が出現しつつありますが、どこまでも機械的に感じます。

一方、対面でのコミュニケーションは、内容だけでなくニュアンスを伝える、人間社会の大事なプラットフォームといえる存在です。そこには、「行間にはじむ」「機微に聴い」「機

知にとんだ」「温もりを感じる」空気が存在します。だからこそ単語を直訳せず、いろいろと注意が必要です。

会社時代に米国駐在していた頃の英語の思い出です。「わが社の従業員が…」を日本で学んだ通り「Our employee…」と話し始めたところ、米人トップから注意されました。今後、「Our associate…」と言うように、と。従業員ではなく「仲間」と呼び、チームワーク重視の文化を大事にしてほしいというのが趣旨でした。同じ日本語の意味でも、英語にする時に迷うケースは、他にもたくさんあります。例えば、先ほどの夏目漱石の有名な逸話について「知っているか？」と尋ねられ、「Yes」とか「Sure」と答えれば文脈上は正しいのですが、会話は止まりそうです。「Great!」「Fantastic!」と感想めいた単語を返せば、会話が盛り上がっていきそうです。翻訳機に任せない呟の一音が局面を変えます。

若い人にとってのグローバル化への向き合い方の第一歩は、語学だと思えます。言語の壁が低くなれば、その先の世界は一気に広がります。多様性や国民性が肌感覚でわかるようになり、自らの成長が実感できます。グローバル化が、人、お金や情報の移動だけで終わらず、これからの時代を背負う学生・生徒たちの多様な人脈の形成につながり、地球規模での相互理解や、SDG'sの実践が進んでいくことを願ってやみません。そのための語学学習と考えると強く応援したくなります。

Message

新理事長挨拶



一般社団法人
教育文化振興実践協会 理事長
大和 恵子

実践協会理事長という重責をお引き受けしてから数か月が経ようとしております。理事一同、慣れない中に精一杯仕事に向き合いながら歩を進めております。

会員の皆様へ改めてご挨拶を申し上げます。これまで先輩諸姉の皆様が、同窓会から一般社団法人へと、同窓会の担うべきより良い形を整えながら120年という伝統と歴史を紡いで来ていただきました。今まで時代と共に活動を続けてきた実践協会ですが、会員の高齢化が目下最大の課題となりま

した。1990年代に社会情勢が大きく変化し共働き社会となり、そのため、協会活動を支えてくださる科会からの理事の選出が難しくなっております。協会の組織の見直しも視野に入れながら、協会の維持・継続の形を模索していく必要があると思っております。

学園も「卒業生ネットワーク構築」のため、卒業後も多世代との継続的な関わりを持ち続けて行けるよう、協会との相互協力体制の強化を進めてくださっています。2020年度から2021年度と部長級職員の全国各支部訪問を実施。本年は支部総会に学園理事長、学長がご出席くださる地域もございます。支部の皆様、その折にはよろしくお願いたします。

コロナは急速にリモート化を推進させましたが、リモートでは、会っているのに何故か「会う」こととは違うという感じを私は抱いていました。京都大学前総長の山極壽一氏の寄稿文の中に、『人間は、視覚と聴覚を使って他者と会話すると脳で「つながった」と錯覚するらしい。だが、それだけでは信頼関係までは担保できないという。なぜなら、人は五感のすべてを使って他者を信頼するようになる生き物だからだ。その鍵となるのが、臭覚や味覚、触

Message

ちょっとずつ、人付き合い



実践女子大学・
実践女子大学短期大学部 副学長
榎 究

□「ちょっと、すみません。」

電車を降りる時、人混みを掻き分けるのは好きではない。だから、「すみません〜。」と言うことにしている。それで、一度として避けてくれない人に会ったことはない。成功率100%、効果抜群である。にも関わらず、それを声に出す人は少ない。肩をぶつけて出て行ったりする人を見ると、嘸きたくなる。いや〜、「人」となら言葉でコミュニケーション取れますよ、と。

□三方良し

『Japan as No.1』などという本が売れた時期は遙か彼方と消え去った。部課長クラスの給与は韓国や中国を下回ったとの記事が出回る現実、若者が少なく高齢者が多くて消費は伸びないだろうという現実を直視した時、競争的社会としての

生き残りではなくて、三方良しの結びつきの中でお互い様で生きていくのが日本には合っているのではないだろうか。何しろ、世界の100年企業の4割は日本に存在するのださだから素質はあるだろう。

□中くらいの負荷の作業の効用

そういった、少々ウェットな関係性を構築するには、たぶん顔を付き合ふ必要がある。

イスラムの女性達が、洗濯機が入って来た時に憤ったという話を聞いたことがある。私たちが顔を合わせずして雑談する一時を奪うのか、と。こういった「ながら仕事」ができる時間は、人と人との関係を作るのに重要な役割を果たしているように思う。

生活環境学科の学生達に人気のT先生の研究室には、建築模型を作りたいという学生達が多くやってくる。学園祭で学長賞や実践協会賞を取るような出来映えは勿論のこと、大変と言いつつもお喋りしながらの作業が魅力的なのだろうと踏んでいる。そう言えば、私のゼミの学生達も、体育祭に参加した一日が過ぎる頃にはずいぶん雰囲気は良くなって、いいチームになっていた。

コロナ禍から平常運転への移行を模索するこの頃、少しずつそんな時間をキャンパス内に増やして行ければと思うのである。

覚といった、本来「共有できない感覚」だという。他者の匂い、一緒に食べる食事の味、触れる肌感覚。こうしたものが他者との関係を築く上で重要なのださうだ。』という文に出会い納得しました。人と会う楽しさ、つながる大切さをコロナは改め

て教えてくれました。長引くコロナ禍ですが、同窓生の親睦を深める活動を継続して行ければと念じております。

今後ともご支援・ご協力の程、よろしくお願申し上げます。

実践協会 役員の紹介(令和4・5年度)

理事長	大和 恵子(昭46短国)	理事	大村 宏子(平30大関)
総務部 常任理事	竹内 節子(昭55院国)	文化部 常任理事	野崎 啓子(昭46大食)
理事	渡邊 文代(昭48大被)	理事	山本 由紀(平06大被)
理事	レイク聖衣子(昭63大英)	広報部 常任理事	倉持 明子(昭50大関)
理事	河西 範子(平09短食)	理事	油井 恵子(昭49短食)
事業部 常任理事	松田 寿子(平02大被)	理事	白岩 葉子(昭52大英)
理事	田邊美紗代(昭43大英)	理事	三浦 雅子(平02大被)
理事	篠原 令子(昭45大食)	監事	久保きみ子(昭43大食)
財務部 常任理事	山中 託子(昭53大英)		佐々木博美(昭57大関)

*カッコ内は(卒年科)



一般社団法人教育文化振興実践協会
令和四年度 定時総会

令和四年度実践協会定時総会報告

令和四年度実践協会定時総会が5月15日（日）、セルリアンタワー東急ホテルにて開催されました。代議員総数133名 定数67名。出席代議員数122名（うち議決権行使書出席50名 委任状出席9名）で定足数を満たし、定款第22条により総会は成立、すべての議題が承認されました。

- 【議題】
1. 令和3年度事業報告の件
 2. 令和3年度決算承認の件
 3. 公益目的支出計画実施報告承認の件
 4. 監査報告
 5. 令和4年度事業計画（案）及び予算（案）の件
 6. 役員改選の件

承認された新役員18名（欠席2名）による理事会が総会後に開催され、令和4・5年度理事長に大和恵子氏が

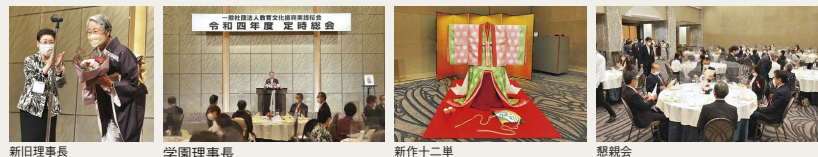
選任されました。総会後の懇親会には、学園理事長、学長、副学長、中高校長、35名の来賓のご臨席を賜りました。そして、6系列科会長、17支部の出席がありました。

学園理事長山本章正氏より学園の中期計画のご説明を頂きまして、学園の様子を知る貴重な時間を持つ事が出来ました。

本年は沖縄本土復帰50年にあたり沖縄支部長島袋節子さんのご挨拶を頂きました。

また、新入会員として高校卒業代表奥田菜乃さんと大学・短期大学部・大学院卒業代表の石川絵梨花さんの挨拶がありました。

会場には実践女子大学の研究ブランディング事業である「源氏物語」研究の一環として製作された十二単が飾られて、佐藤悟教授から制作過程やその意義についてのお話を伺いました。



系列科会長、支部長、実践協会役員の懇談会

総会・懇親会の後、〈朝霧の間〉に会場を移して科会長と支部長の皆様のご出席のもと、顔合わせの懇談会が開催されました。総会で承認された新役員も参加致しました。

冒頭、実践女子学園経営企画部の方から、各地の支

部の皆様と交流を盛んにしていきたいとお話を頂きました。次いで桜会の書類配布と説明がありました。その後に各科会並びに支部の皆様からのご意見やご要望を伺いました。寄せられたご意見ご要望については今後の桜会の運営の中で勘案させていただきます。



札幌支部 佐々木 智子 (昭和51年/大食管卒)

今年は新型コロナウイルスも落ち着きつつあり、支部行事も少しずつ再開しているかと思っております。6月12日には、実践の在校生が参加する「よさこいソーラン祭」の応援に行ってきました。また6月19日には、3年ぶりに札幌支部総会を開催いたしました。久しぶりに集まった会員はソーシャルディスタンスを守り、マスク会食でありましたが、お互いに元気であったことを確かめ、懐かしい学生時代の話に花が咲いていました。コロナ禍で一変した日常生活を取り戻すために、秋には札幌近郊を散策して、歴史をたどる日帰り研修旅行を試みたいと計画しています。今年度の活動は、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら小人数の会合で対応してまいります。

また昨年11月8日には本部の理事の皆様が北海道への支部訪問をしていただき、皆様と欲談し実践協会が身近に感じられました。これからは、他の支部との交流もしていけたらと思っております。今後は若い世代の卒業生にも支部の存在を知ってもらい、支部活動にもっと活気が出ることを期待しています。

函館支部 宮村 智子 (平成1年/大國卒)

昨年11月、実践協会主催による札幌・函館支部合同の懇談会が札幌にて開催され、函館支部からは3名が出席いたしました。鈴掛前理事長様はじめ本会の皆様や札幌支部の皆様と親しく懇談させていただきました。

き、嬉しく楽しいひとときでした。また、山本学園理事長様からは、昨春、北海道外出身の方が10名も道内企業に就職されたとお話があり、嬉しい驚きとともに、今後は、その方たちとも何かしらの交流が持てばと願っております。懇談会をきっかけに、札幌支部の皆様とは距離がぐっと近くなったように感じ、ぜひ札幌支部・函館支部合同で交流会を、との楽しい計画も持ち上がりました。会員の減少など共通の悩みも知ることができ、二支部での交流会によって、様々な可能性が広がればと期待しております。遠路、そして寒い中を北海道まで足をお運び下さり、このような懇談の場を設けて下さいましたことに心から感謝申し上げます。函館支部では例年、秋に行う同窓会を2年続けてコロナ禍により中止してまいりましたが、今年こそは皆で元気に集まりたいと思っております。

宮城県支部 谷口 あき子 (昭和57年/大食管卒)

東北地方も6月末に梅雨明けとなり、過去に例のないくらい暑い日々を過ごしております。

さて、宮城県支部では、私が支部長を引き受けましてからは、コロナ禍ということもあり、支部総会を中止し、会員が集まることなく2年間が過ぎてしまいました。

今現在としては、今年度、5月に開催された実践協会定時総会の報告及び参加しての感動を支部の会員へ伝えるべく支部総会開催に向けて、時期・開催方法などを支部役員の間で打合せを行っている状況です。

また、毎年、本部より新卒生のご紹介をいただいているところですが、ご実家の方への連絡となりますことから、なかなかお会いできずしております。

現在の支部の会員は、総会を中止している間にも当然のことながら、

私を含めて皆が歳を重ねてまいりますので、役員としては、「今年こそは、なんとしても支部総会を開催したい」と、考えております。なんとか世の中の情勢が落ち着いてくれることを願っております。

山形支部 長谷川 文 (昭和60年/大英卒)

山形では昨シーズンの大雪やコロナ等様々な影響のため、担当地区の引き継ぎも延期となっております。6月30日に米沢地区と山形地区の担当で3年ぶりの引き継ぎ会を持ち、今年の方針などが和やかに話し合われました。その中で、この秋に山形市にて総会を開催することが決定致しました。新入会員の減少と会員の高齢化を鑑みて、これからの山形支部総会の在り方を見直し、山形支部がより良い形で継続できるよう、皆様と共に知恵を出し合っ

て参りたいと存じます。会食会では久しぶりの再会でおしゃべりに花が咲き、とても楽しい時間を過ごすことができました。

福島県支部 藤田 美智子 (昭和51年/大國卒)

コロナ禍により紙上開催としてきた定期総会を3年ぶりに会場開催いたしました。同窓生の経営されている岩代屋敷大王（福島市）を会場に、午前中は総会、午後はフラーアレンジメント講習を行いました。会津若松市や郡山市からの参加者もあり、近況を報告し合いながらの昼食は大変和やかな雰囲気、一同に会することができた喜びを実感いたしました。講習後は、それぞれの個性豊かなアレンジメントを鑑賞しあいました。来年度に向けての余興のアイデアも出され、早くも次年度の再会に思いを馳せながらの閉会となりました。



福島県支部

茨城支部 久保田 節子
(昭和40年/短英卒)

秋風の吹く頃となつて参りました。茨城支部におきましても、3年ぶりに令和4年度第1回役員会を7月10日(日)、旧水戸県庁内の交流サルーンで開催致しました。依然としてコロナ禍の収束が見込めないため、今年度も支部活動を中止と致しました。



ある新聞の文化欄に音楽評論家の吉田秀和氏の記事が掲載されておりました。「こぼれを奏でる一没後10年目」という題名でした。氏は水戸芸術館初代館長として世界に発信する芸術活動の拠点を目指して活動されておりました。

その芸術館は建築家の磯崎 新氏が設計されました。塔(シンボルタワー)は高さ100メートル、正四面体の組み合わせられた三重の螺旋構造体から成っており銀色に輝いて空に向かって伸びています。

エントランスホールの二階には日本人の手で作られた最大級のパイプオルガンが設置されています。週末には入場無料の「プロムナード・コンサート」が開催されているそうです。水戸の借楽園と併せてどうぞお出かけ下さい。

群馬県支部 茂木 初枝
(昭和45年/大被卒)

今年こそはと思っておりましたが、コロナの感染状況から秋に予定しておりました支部総会を申し訳ございませんが、中止と致しました。会員の皆さまには昨年同様書面での



議決をお願い致します。支部活動である会員同士が顔を合わせた交流が持てないのは誠に残念です。集える機会が出来たら、ご案内させていただきますのでぜひご参加を宜しくお願い致します。

埼玉支部 金子 京子
(昭和53年/大被卒)

埼玉支部は、6月18日(土)に「With Youさいたま」において第26回支部総会並びに講演会を行うことができました。



総会は、コロナ禍で対面実施できずにいたため、2年ぶりの開催となりましたが、無事に終了することができました。

講演会は、2年前から実施できずにいた、時間栄養学者の大池秀明氏による「人生は『朝食』で決まる～体内時計から考える食事の時間～」を開催しました。生涯学習センターや学生総合支援センターの方に、埼玉県在住の卒業生や在校生の皆様にも、会の情報提供をしていただき、年齢層の幅が広い参加者が集まった会となりました。講義では、従来学んでいた栄養の知識とは違った観点からの食事の摂り方を学び、皆さんからも大変好評でした。昼食は親睦を兼ねて、同じ建物にあるレストラン「好日」で、久々に近況を報告しあいながら、和やかに過ごすことができました。

今後の活動は、11月に「研修交流会」として大宮藤樹園で盆栽作りとフレンチレストラン葉山庵での会食、令和5年2月に「実技講習会」としてアクセスリ講習会を計画しております。皆様のご参加をお待ちしております。



実践例会埼玉支部総会



千葉県支部 石井 松子
(昭和59年/国文卒)

コロナ感染も少し落ち着いて来ていたので、6月26日に総会を行いました。3年ぶりの開催に会場のそこで無事の再会を喜ぶ声があがっていました。実践女子大学生活科学部生活環境学科教授の大川知子教授を招いての講演や、音大OBの松井君によるミニコンサートなど、充実した和やかな楽しい時間を過ごすことができました。



この度の総会で、役員も交代となり新たな5人体制で活動して行きます。この後は発行3回の会報誌「ミュー」の発行や、コロナ感染の状況を見ながら秋にミニ同窓会などを企画したいと思っています。よろしくをお願いします。



神奈川支部 守田 由紀子
(昭和48年/大英卒)

コロナ禍の中、日常生活が戻りつつある7月10日「ホテルニューグランド」にて総会・懇親会を開催しました。



学園理事長山本章様のご出席を頂き、「中期計画2022～2026年度」についてのお話を伺いました。母校の様子も知り、記憶の中の学生時代に思いを馳せた瞬間がありました。更なる良き学園環境発展を願っております。学園経営企画課長 青井敦子様から学園グッズ販売をして頂きました。横浜港と山下公園を背景

に、待ちに待った皆様との交流の場の再開でした。

出身学科を越えた、また、中・高から外部へ進路を取られた方々が卒業後、ご縁があって神奈川県に移住されたり、又はご家族がお有りの方々もいらっしゃいます。このような方々との出会いを、更にたくさん広げながら、生きがい多い日々に一石を投じることができる会になればと願っております。

実践例会のご支援を頂きながら、卒業生とのつながりが益々盛んになりますように、新しい方々のご入会を心からお待ちしております。



長野支部 竹内 美智子
(昭和38年/大被卒)

昭和55年10月、長野支部発足以来、昭和、平成、令和と40回にわたり県内4ブロックを巡って支部総会を続けてまいりました。



会員の方の中に戦時中大学に在学中で今でも大変お元氣な高齢の大先輩の方がいらして昔の話をしていたいていました。

今では想像もつかないような苦勞話をお伺いし、大学の長い歴史とそんな中でも勉学に励んでいらした先輩方のご努力に感銘を受けながらの楽しいひと時でもありました。

長く続いていた総会も令和2年度・3年度はコロナウイルス感染症の為、やむなく中止となってしまいました。現在のところ、県内の感染者数もだいぶ減少傾向にありますので、今年こそは3年振りの10月予定の支部総会が安心して集えることを楽しみに、開催できますことを心よ

り願っているところです。

新潟支部 齋藤 清子
(昭和51年/大食卒)

新潟町の町並み 信濃川左岸の新潟町は、明暦元(1655)に完成し、川と海から運ばれてきた荷物を運搬や取引するために、堀という「西堀」と「東堀」と通りという「小路」が設けられました。その後、昭和39年までに堀は埋め立てられ道路に変わってしまいました。しかし、町並みや小路は残り、今も昔の小路の面影を残しています。



なかでも、榎谷小路、新堀、新津屋小路、広小路等。白山堀、寺町堀、権現小路、真浄寺小路、ピンチャン小路。小路はそのなりわい(生業)に深く関係しています。

もう一つの特徴は、天文2年(1533)から慶長2年(1597)に他国から浄土宗、曹洞宗、真言宗等々。大小四十三ヶ寺の寺町は四百七十年以上に歴史があった。

明治33年に帝国婦人協会新潟支会(現在の新潟青陵学園)を設立。新潟を皮切りに下田歌子先生は女子教育を普及し講演会を開催しました。西堀道には女子工芸学校の跡の碑が残されています。



石川支部 紙谷 玲子
(昭和42年/短被卒)

今年に入り石川県には修学旅行の学生さん達が多く見られるようになりコロナウイルスが下火になった



時点で石川支部総会を開催したいとお世話役の一人の方に連絡を入れたところ「私、病氣になり今ハビリ中で何も出来ません」とのお返事が返ってきました。これからは二人で様子を見ながら頑張りたいと思っております。

大学卒業後はほとんどの方が帰郷されずに就職されます。卒業名簿をいただいてもほとんどが県外在住です。支部にとっては心配な状況です。

今年度大学の事務局の海野さんの訪問を受け、石川県の高校、大学のことをいろいろお話しさせていただきました。

三重支部 竹腰 葵
(昭和44年/大英卒)

入道雲の季節となりました。2020年、2021年とコロナウイルスが蔓延した為に総会を休止していましたが、11月29日に四日市の「呼月」で、総会を開きたいと思っております。長い間の自粛生活をお話し合いながら思いつきり会話を楽しみたいと願っております。



皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 11月29日(火) 11時30分
場所 「呼月」
四日市市安島1-4-15
TEL:093-9350-0500
会費 3,000円
内容 総会等

お尋ねは
竹腰 080-8257-0892
古庄 090-3388-1372

関西支部 堀田 由美子
(昭和56年/大食卒)

関西支部は新型コロナウィルスの影響のため活動を中止していましたが、2019年以来3年ぶりに活動を



再開することになりました。とはいえ、新型コロナウイルスが全くゼロになっただけではないので、今年までの様に感染対策に十分気をつけながらの会の活動再開となりました。

本年は3年前に予定していた活動内容を初風氏のご好意によりそのまま開催できることになっていました。

本年度の予定
6月7日 幹事会
9月上旬 総会打合せ
10月18日 総会・初風緑氏による公演会
11月 幹事会

どうぞふるってご参加下さいませ。

鳥取支部 播磨 篤子 (昭和47年/大被卒)

去る6月11日(土)鳥取支部の総会を開催。内容は実践校会の定期総会(5/15)の報告並びに今年度の支部の活動について協議いたしました。

コロナ禍でここ数年、鳥取支部の「定番」になっております研修旅行も「休眠状態」ですが、今年は是非とも実行したく、10月初旬に予定しました。

写真は昨年12月9日(土)にコロナ感染予防対策を取りつつ、久々に歓談した時のものです。撮影時のみ、「マスク」を外しました。



会員募集中!!
会費などはありません。入会の希望、お問い合わせは下記まで気軽にご連絡くださいませ。

世代を超え、同じ学び舎で過ごした者同志、語りませんか?お待ちしております。

●播磨 篤子:090-9465-9578

鳥根支部 大谷 香代子 (昭和49年/大國卒)

早い梅雨明けに、これから先長い夏が続くと思いますと、疲れが出て参るこの頃です。

去る5月15日には、3年ぶりに本年度実践校会総会が開催されて、私自身3年ぶりに上京致しました。総会では理事長様はじめ執行部の方々交代され、また実践グッズ販売があり学生さんデザインの一筆箋など多数目に楽しく思い参加してない支部の方々のお土産といたしました。

鳥根支部では広報活動として、「花柳基先生の講演と実技」をコロナ発生の年から計画致し毎年延期といたし、本年は3度目の正直とも申しませうか、12月17日(土)に向けての準備を再開致しております。

鳥根支部総会はなかなか開催できずいましたら、コロナ感染過去最高の新規感染者数を記録してNHK全国ニュースに載り、皆緊張状態で過ごしております。

ウクライナの厳しさあり、円安日本の衰退傾向ありで、元気の出ない感覚に憂いて居ります。でも前向きに未来のために未来の幸せを考え、目の前にある事柄から少しでも何か行動を起こす、実践(実践女子大)をして参りたいと思っております。

岡山支部 岩藤 充子 (昭和60年/大英卒)

新型コロナウイルス感染者の数も減ってきていて今年こそは懇親会が開催できると嬉しいですね。

今年の10月の懇親会は岡山県立

美術館へ観覧に行く予定です。
佐賀県立美術館のご協力で岡田三郎助の作品を中心に百武兼行、久米桂一郎、古澤岩美、池田龍雄、野村昭嘉、池田学といった有名な画家達の作品が100点も展示されるそうです。

佐賀ゆかりの絵画が岡山に来ることは中々ありません。更に佐賀の歴史を紹介する文物や有田焼や鍋島更紗など佐賀が誇る伝統工芸まで拝観出来ます。もしかしら、これを逃すと岡山で佐賀美術館は見ることが出来ないかもしれないそうです。それを考えてと10月のお集まりは是非とも実現させたいところです。

山口支部 根ヶ山 祥子 (昭和61年/大被卒)

山口支部のみなさん、お元気で過ごしてでしょうか。今年こそ支部総会を開き、平素、なかなかお会いできない会員の方々と、近況報告などしながら楽しい時間を過ごせればと考えております。一人でも多くの会員の皆様に参加していただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

愛媛支部 森 ゆかり (昭和58年/大食卒)

今年度より愛媛支部長を引き継ぎました。
前任の城徳さんのきめ細やかなお世話のおかげで、毎年滞りなく支部総会が開催され、先輩方と楽しいひとときを過ごせましたことを感謝しています。

城徳さん、長年のお世話役でありありがとうございました。

皆様が再会を楽しみにしておられる年に一度の集まりを絶やささないよう、また母校とのつながりが続くように務めてまいります。

3年ぶりの愛媛支部総会は、期日

は未定ですが10月に実施できたらと考えています。

支部長デビューよろしく申し上げます。

福岡支部 川端 眞樹子 (昭和60年/大被卒)

今年度11月1日に学園と支部懇談会が熊本で実施されます。福岡支部の皆様もご参加いただき、令和の実践女子学園のお話や九州の皆様との交流ができればと思っています。

福岡支部は、新型コロナ感染防止の観点より残念ながら2年間、支部会は中止とさせて頂いてきました。今年度は、本部総会も3年ぶりにセルリアンタワーで開催されました。感染防止対策をして、11月下旬から12月上旬に、3年ぶりの開催を目指しております。支部会員のみなさまには改めてご案内させていただきます。

佐賀支部 藤山 たか子 (昭和49年/大食卒)

6月末早くも北部九州は、梅雨明けし、今後の猛暑対策、水不足が心配されます。皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。

さて佐賀支部の活動についてですが、残念ながら2019年8月の支部総会を最後に特に何もしていません。来年春頃には支部総会を開催できればと役員で話しておりますが、何しろ会員の皆様も高齢の方が多く思うように動けないのが現状です。

コロナが落ち着いてまいりましたら、支部活動も前向きに考えていきたいと思っています。

熊本支部 瀬川 敬代 (昭和59年/短英卒)

熊本地震から6年が経過し、熊本城では天守閣全体の復旧が完了する等、徐々に復興に向かっております。

「今年度は、ここ2年コロナで中止していた総会が開催できるだろうか?」と思いきや、「支部懇談会」が熊本での開催の運びとなりました。支部開設以来初めてのことで、まさに青天の霹靂。決まったからには、少しでも多くの方にお出でいただき、「行ってよかった!」と思っていただけようてお迎えしたいと思っております。当日は、皆様とお会いできることを楽しみにしております。

鹿児島支部 山口 圭子 (昭和57年/大食卒)

令和2年度3年度と、コロナ禍により支部総会を開催できずにおりました。世の中の動きに合わせ、今年度こそ思っていました、なかなか減少に転じない鹿児島県の感染者数を目にするにつけ、総会の予定を立てられずにいる現状です。

支部会員ともなかなか会う機会がありませんが、街中でひょっこりお姿に接する事の出来た日は心が温かくなり、「皆さんと集りたい」という気持ちがつります。また以前のように、校歌を歌い、学生時代の思い出話を語り合う場を設けたいものです。コロナ禍の終息と様々な紛争の解決、穏やかな日常を!と祈らずにはいられません。

沖縄支部 島袋 節子 (昭和41年/短生卒)

沖縄支部は今年設立30周年を迎えました。(故)金城里子初代支部長をはじめ当時高等学校の現役教

員だった(故)大山光子様が総務を一手に引き受けられて会員の掘り起こしから名簿作成までご苦労下さったお陰で今日の支部活動が有りなりにも続けてこれているのです。それと短い間ですが他府県に嫁いで行かれた久場靖子様にもご助力頂きました。それから現在の総会資料の基礎を作った(故)砂川智香子様、当時現役の高校の教員でしたが若くして惜しまれつつお亡くなりになりました。

勿論30年もの間には3代目の(故)阿崎洋子支部長をはじめ大いに影響を受けた素晴らしい先輩方との辛い別れがございました。そしてあれから30年、会員のグレイヘアが目立つ中、年を追うごとに支部総会参加者が減少傾向にあります。会員あってこそ存続。「今日行く(教育)ところがある」「今日用(教養)がある」お待ちしております。沖縄在住の若い方(昔若い方も)ウェルカムですよ~!

英国支部 松嶋 みどり (昭和49年/大被卒)

2019年から始まったパンデミックにより会員の方にも影響が出ています。

今年の夏こそはと計画を立て始めると航空運賃の値上げ、加えて航空会社のスタッフ不足でキャンセル便続出。ペット用ホテルに空きがなく断念。若い方はコロナ禍で家でじっと我慢していた反動で規制が緩和したとたんEUなど旅行三昧をした方。2021年に2週間のホテル隔離を経験した方等々。

国による対応の違い、人による受け止め方の違い、それぞれが考え行動しお互いを尊重し時が過ぎていよう。桜会英国支部も3年余り会合を開いていませんが又皆で会える日を楽しみにしています。

科会だより 活動報告 & 今後の予定

実践ときわ会

実践ときわ会は、実践女子中学校、高等学校を卒業した皆様に入会していただき、同窓生として年代を超え、催しなどを通じて親睦を深めております。

現在、一時休会しておりますが、再開時にはお知らせいたします。

実践被服 生活環境科会

科会長:松岡 久美子

対面活動が出来ない状況に危機感を感じておりましたが、感染予防の習慣が身につく、世の中も動き出してきたように思いますので、事業活動を再開することに致しました。



4月23日(土)実践校友会館で総会を開催、一年振りの対面活動でした。6月8日(水)「鎌倉散策とランチ」を開催しました。マイクパスを仕立て、感染予防に留意した見学会、NHK大河ドラマの後押しもあり、実りある行事となりました。もっと行事に参加したいという希望があり、急遽実行可能な事業に活動変更することにしました。

那与竹第85号「科会だより」でお知らせした事業計画を変更します。観劇会<宝塚観劇とランチ>は令和5年度へ持ち越し、講習会<七宝焼きブローチとネックレス製作>は中止とします。今後の事業計画は下記の通りです。

■観劇会<劇団四季ミュージカル「アラジン」>とランチ

日時:2022年10月6日(木)
解散 16:20頃

集合場所:A (S席+ランチ付) カレッタ汐留46F「響」 11:30~
B (S席観劇のみ) 電通四季劇場「海」汐留 13:00~

参加費:A 14,500円(ランチ付)
B 13,000円(観劇のみ)

定員:25名(定員になり次第締切)

■講習会<ブライザードフラワーのクリスマスリース>

日時:2022年11月22日(火)
13:00~16:00頃

場所:実践校友会館
講師:アンジュ協会代表理事 篠原洋子氏(大被51卒)

参加費:5,500円(材料費、茶菓代込)
定員:30名(定員になり次第締切)

*仏花をご希望の方は、仏花に変更可能

です
*社会状況の変化により予定の変更・中止等ご了承下さい

■会誌発行
「歌ごろもニュースNo.26」6月上旬
「歌ごろも第31号」12月上旬

QRコードから実践校友会HPの当会にアクセスできます。

ご入会は随時受け付けています。
●連絡先:TEL&FAX 03-3721-9378

松岡久美子



アマンダンブルーにて

実践家政科会

科会長:伊達 嗣代

実践家政科会第60回の総会を5月29日(日)母校渋谷キャンパス9階のカフェテリアにて開催致しました。出席された方々の明るい笑顔が印象的でした。総会の議事が承認された後、家政科会のために長年務めて下さいました熊切富子様、野口伊都子様への「感謝のひとつとき」を、そして難波雅紀学長様のご挨拶に続き、本多京子氏の後援会「シニア世代の食を考える」と盛り沢山のプログラムを無事執り行う事ができました。



本多京子氏は医学博士・管理栄養士として本学46年の卒業生です。本多京子氏の講演は私共にはタイムリーな内容であり、示唆にも富み、難しい内容を分かり易くご講演頂きました。

その後、お配りしたおみやげ<有職のちまき寿司>を頂きながら、皆様と和やかな集いを持つことができました。皆様には感謝を申し上げます。

実践家政科会は今和4年度の活動も新たにスタートしており、月1回開催の委員会では各部の企画を巡り、委員の皆さんの明るいお声が飛び交い、頼もしい限りでございます。

今年度の主な活動をお知らせ致します。
■5月20日(金) 会報誌「家政科会だより」第50号が刊行されました。ご拝読頂き、ご意見ご感想を頂ければ幸いです。

■9月28日(水) 福祉部主催の手作りボ

ランティアの会の活動 於校友会館
■10月23日(日) 文化部主催の中国料理講習会 於浅草橋「フージャン」

■12月 歳末助け合い募金・使用済み切手の郵送

■1月24日(火) 新年会 ホテルニューオータニを予定

●連絡先:TEL&FAX 03-3688-9297

伊達嗣代

実践国文科会

科会長:鈴木 美知子

新型コロナウイルスが終息するまで3年はかかると専門の先生方がおっしゃられていましたが、2年半経ってもまだその気配はなく、最近では「サル痘」の日本上陸の心配まで増えました。そのような中、国文学科会では科会の数を減らし、なるべく人込みの中に入ることを避けようとして努力して居ります。



しかしながら、何もしない訳にはいきません。少しでも会員の皆様が興味を持ってそうなどころから模索して参る所存です。

■6月10日(金)

早稲田大学内の村上春樹ライブラリーを見学しました。又、會津八一記念会も見学し、歌人のみならず考古学・民族学の研究者としての立派な業績も拝見しました。

■9月頃「りんどろ」発行

■10月5日(水) 能楽鑑賞
千駄ヶ谷国立能楽堂 13時より
一出し物一 狂言「鎧腹巻」
野村萬斎 他
能 「雨月」
武田宗和 他

■11月23日(水)「一葉祭」参加予定
今回ホームページ等を御覧になり参加くださった方々もいらして、企画制としてうれしい限りです。どうぞ御無理なさらず沢山の皆様のお参加をお待ち致して居ります。

●連絡先:TEL&FAX 043-250-8308
鈴木美知子

■11月23日(水) 福祉部主催の手作りボ

■5月20日(金) 会報誌「家政科会だより」第50号が刊行されました。ご拝読頂き、ご意見ご感想を頂ければ幸いです。

■9月28日(水) 福祉部主催の手作りボ



村上春樹ライブラリーにて

実践英文科会

科会長:山内 典子

6月5日(日)第46回総会が3年ぶりに開催されました。今年度の事業計画などが承認され、新年度がスタート致しました。総会後は、実践女子大学・実践女子大学短期大学部学長の難波雅紀先生に「アメリカン・マインドの象徴」と題して講演をしていただきました。その後、コロナ禍での学園の様子・学生たちの様子もお話ししていただきました。他科会の方も加わり興味深くお話を傾けました。



また、今年度の秋の見学会は、昨年学園主催で行われた「実践女子学園収蔵品コレクションツアー」が好評だったので、英文科会の見学会という形で秋に実施いたします。皆さんの参加をお待ちしています。

☆会報誌について

会報誌「英文科会だより」は年一回9月に発行しています。講演会の様子、見学会や新年会の様子などを会員の皆さんへ情報とお送りしています。会員の親睦を図るとともに、会員の輪の広がりに繋がればと思っています。

■会報誌:「英文科会だより2022」9月発行
■見学会 秋の見学会 「実践女子学園収蔵品コレクションツアー」
日時:10月19日(水)11:00~13:00

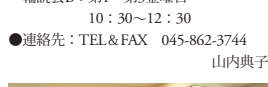
■新年会:令和5年1月22日(日)
会場:東京ステーションホテル、フランス料理「アトリウム」

■常設勉強会:於実践校友会館
輪読会A:第2・4金曜日
10:30~12:30

輪読会B:第1・3金曜日
10:30~12:30

●連絡先:TEL&FAX 045-862-3744

山内典子



■常設勉強会:於実践校友会館
輪読会A:第2・4金曜日
10:30~12:30
輪読会B:第1・3金曜日
10:30~12:30
●連絡先:TEL&FAX 045-862-3744
山内典子

実践校友会ホームページのご案内

QRコードを携帯などで読み取ってください。
校友会ホームページをご覧ください。



実践校友会館利用サークルのご案内

サークル名	活動曜日	主な内容
実践校友会囲碁教室	第2・4月曜日	囲碁
英文輪読会A	第2・4金曜日	英文学
英文輪読会B	第1・3金曜日	英文学
実践絵手紙の日	第3日曜日	絵手紙
桂泉会	月二回土曜日	華道古流
香友会	不定期	香道
桜書道教室	月二回土曜日	書道
下田歌子先生の著作を読む会	第3日曜日	研究会:下田先生を広く知る
童の会	不定期	文学・児童の研究と創作
ハーダンガーの会	第2木曜日	工芸・ハーダンガー刺繍
実香会	第3土曜日	香道 ※注
日本刺繍の会	第4木曜日	日本刺繍
日本ギヤスカル協会	第1又は第3日曜日(不定期)	ギヤスカルの研究
北欧クロスステッチ	月一回土曜日	北欧刺繍
青脈会	不定期	山岳部OB会
ハワイアンスタイル	第1・3火曜日	健康フラとウクレレ
JJF	不定期	中高在籍中の子女の父親の会
香道ランドマーク教室	第2火曜日	香道

※注 中級者以上のお稽古になります。(初心者の方は体験香道をご案内できます)

QRコードを携帯などで読み取ってください。
校友会館で利用サークルのご案内を直接ご覧いただけます。



学祖祭

令和4年10月8日（土）

下田歌子先生のご命日であり、10月8日に実践校舎の会館内に祭壇を設置して、学祖祭を開催いたします。皆様、どうぞお参りにお越し下さい。同日、実践校舎が所蔵する下田歌子先生ゆかりの品々を展示いたします。



実践校舎「ときわ祭」参加 Sakura ショップ開催

日時：令和4年9月17日（土）・18日（日）10時30分～16時
会場：中高校舎1館1階教室

コロナの影響で中止されていた「ときわ祭」が再開され、実践校舎も「バザー」から「Sakura ショップ」に名称変更して参加いたしました。

岩村の銘菓や卒業生のお店のお菓子、「那与竹」会報誌を並べ、卒業後も校舎とのつながりをPRしました。沢山のお買い上げ、ありがとうございました。

『那与竹』を中高生へ ～もっと繋がろう～

実践校舎では、年間2回実践校舎の広報誌として「4月『那与竹』」「10月『なよたけ情報版』」を会員の方々に向けて発行しています。以前の『なよたけ情報版』に高校卒業生の座談会が掲載されており、中高生にも『那与竹』を配布してほしいとの意見がありました。そこで、大和恵子理事長から、毎年、住居・転居先不明で戻ってくる『那与竹』を、中学・高校生に差し上げてはどうかとの提案があり、教頭先生にご相談の上、お配りさせていただき運びとなりました。

高校を卒業された方々で作る『ときわ会』、大学・短期大学部を卒業された方々で作る各科会（被服・生活環境科会、家政科会、国文科会、英文科会、生活文科会）について知っていただける良いきっかけにしたいのではないかと思います。

色々な世代の先輩たちとの文化交流や各公開講座などの情報を、今後世に出ていける若い方たちに共有していただけたらと思います。

初春歌舞伎観劇会

日時：令和5年1月8日（日）

場所：国立劇場

今年も新型コロナウイルス感染症対策を徹底の上、開催いたします。

実施する演目、観劇料金等はHPや校舎会館の掲示でお知らせいたします。なお、社会状況等の変動により、主催者都合による中止の場合もあります。ご了承願います。
TEL：03-3407-7459 FAX：03-3499-0835

国立劇場は建て替えのため令和5年10月末で閉館となります。

令和6年の観劇会については「なよたけ情報版No.29」でお知らせいたします。

会費納入のお願い

一般社団法人教育文化振興実践校舎の運営・活動は皆様の会費によって支えられています。会費未納の方は実践校舎窓口、又は同封の振込用紙にてゆうちょ銀行で納入をお願い致します。（ゆうちょ振込用紙がない場合は実践校舎 TEL：03-3407-7459までご連絡下さい。）

4月にお届け致しました那与竹に同封のバーコード付き振込票はLINE Payをご利用頂けます。年会費は2,000円です。会費納入状況のお問い合わせもお受け致します。

※振り込みの際は会員番号のご記入をお願い致します。（宛名ラベルのお名前下の8桁の数字です。）



ホームカミングデー～卒業生のつどい～

2022年11月13日（日）日野常磐祭の開催に併せ、ホームカミングデー（HCD）を日野キャンパスで午後1時から開催します。

今回のHCDは「全世代が楽しめる」企画をご用意して、卒業生の皆様のご来校を心よりお待ちしております。
※詳細は、同封のチラシをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更の可能性があります。

今回のHCDは…

※感染症防止対策を講じて、久々の集合型（対面）開催、*Zoomでの参加も可能、*小さいお子様・お孫様も一緒に（キッズコーナー設置）、*もらって嬉しい商品が当たる抽選会、*現役学生も運営スタッフとして参加 など

最新情報は、学園ホームページ及び卒業生のための学園公式LINE-桜むすびonline-にてお知らせします。なお、LINEメンバーの皆様には、「HCDで会いたい先生・職員」を募集する予定です。この機会に、ぜひLINEの「友だち追加」をお願いします。



▶LINE登録はこちらから。

香雪記念資料館

展覧会：「まなび、伝えた女性画家たち」

会期：2022年10月31日（月）～12月9日（金）

休館日：日曜日、祝日、11月21日（月）

開館時間：10：30～17：00

入館料：無料

会場：実践女子大学（渋谷キャンパス）

香雪記念資料館 企画展示室1・2、下田歌子記念室

主催：実践女子大学香雪記念資料館

イベント：ギャラリートーク

11月19日（土）、12月3日（土）ともに14：00～

※新型コロナウイルス感染症の状況により、会期の変更や中止の可能性があります。

詳細は当館ホームページをご確認ください。

公開市民講座（無料）

〈渋谷キャンパス〉

●文学部国文学科

「生誕130年 佐藤春夫とその時代」

講演会：10月8日（土）

パネル展示：9月26日（月）～11月15日（火）

〈日野キャンパス〉

●生活科学部食生活科

「アスリートの食事から学ぶ」

講演及び柔道技デモ：11月12日（土）

●生活科学部生活環境学科

「地域との関わり方を考える～地域コミュニティ論入門」

講演会及びパネル展示：11月5日（土）

※新型コロナウイルス感染症の状況により、日程の変更や中止の可能性があります。

※公開市民講座の実施詳細（問い合わせ先等）については、

大学ホームページにて決まり次第お知らせします。

生涯学習講座（有料）

【オンデマンド講座（見逃し配信）】

1.いま再び新しく宮沢賢治を読み深める（講師：栗原 敦）

2.心で感じる『百人一首』—おもしろすぎる歌人たち—

（講師：久保貴子）

3.おもしろすぎる『平家物語』（講師：久保貴子）

4.おもしろすぎる『枕草子』（講師：久保貴子）

※生涯学習講座（有料）については、卒業生への優待割引も行っております。ご興味のある方は、下記ホームページにてお申込みいただくか、生涯学習センターまでお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉

実践女子大学生涯学習センター

TEL：042-589-1212（月～金曜日 9:00～17:00）

URL：https://www.syogai.jissen.ac.jp/

「卒業生・在学生子女推薦」のご案内

大学・短期大学部では、卒業生及び在学生の子・孫・姉妹を対象とした入学者選抜「卒業生・在学生子女推薦」を行っています。

ご息女・ご孫・ご令妹で、本学にご興味をお持ちいただける受験生の方がいらっしゃいましたら、本制度のご利用もご検討いただけますと幸いです。

〈お問い合わせ先〉

大学・短期大学部 入学サポート部 TEL：042-585-8820

「中学校入試」のご案内

実践女子学園中学校では一人一人の得意を活かすために、様々な入試を実施しています。

【2科/4科入試】【英語資格入試】【思考表現入試】

本校にご興味のあるご息女・ご令孫がいっぱいありましたら、ぜひ学校説明会等にご参加ください。詳細は中高ホームページをご覧ください。詳細は中高ホームページをご覧ください。〈お問い合わせ先〉

中学校高等学校総務部 TEL：03-3409-1771

下田歌子記念 女性総合研究所 既刊紹介

研究叢書第1巻

『下田歌子と近代日本

良妻賢母論と女子教育の創出』

（広井多鶴子編、勁草書房、

2021・8、本体5,000円＋税）

新編下田歌子著作集

『婦人常識論』『女子のつとめ』『女子の心得』『結婚

要訣』『良妻と賢母』（下田歌子記念女性総合研究所監修、

三友社、2016・3～2020・3）



令和3年度事業・財務報告

【総務部】

- 1) 定時総会開催 (5月15日)
- 2) 理事会開催 (11回) 常任理事会 (10回)
- 3) 秋季運営委員会開催 (10月30日)
- 4) 学祖祭(護国寺墓参、実践桜会会館に仏式祭壇設置) (10月8日)
- 5) 入学、卒業祝い記念品の贈呈 (4月、3月)
- 6) 支部、系列科会への助成事業 (3万円)
- 7) 祝・成人の会 (実践女子学園/実践桜会共催) (1月11日) …中止
- 8) その他学園の懇親会等行事に参加
- 9) 会員名簿の管理
- 10) 会員サービス事業の推進 (札幌・函館2支部との懇談会) (11月7日)
- 11) 実践桜会会館・日野分室 (本館541号室) の管理

【事業部】

- 1) 母校教育助成事業 (助成金・学園助成)
- 2) 大学・短期大学「常盤祭」に協賛金贈呈・桜会賞授与
- 3) 実践桜会奨学基金事業 (学園高校生1名 実践女子大学生1名 大学院生1名/各30万円給付)
- 4) 実践桜会国際交流基金事業 (4名 (台湾、ベトナム、中国、韓国) /60万円給付)
- 5) 生涯教育活動事業 (図書・教室の管理)
 - 1) 図書事業 (図書の貸出・購入・整備)
 - 2) 生涯学習活動事業 (桜会主催教室 開講教室)
 - 3) 文化助成活動 (支部・系列科会への助成事業0件)
- 6) 結婚相談 (原則 毎月第2、第4土曜日)
- 7) 法律相談 (原則 毎月第2水曜日)

令和3年度 会館利用状況

(令和4年3月31日現在)

月	件数	人数	月	件数	人数
4	11	84	10	12	78
5			11	17	136
6	4	30	12	12	122
7	6	50	1	11	70
8	3	24	2	4	25
9	6	48	3	16	136
		合計	102件	803名	

【文化部】

- 1) 実践桜会バザー <於: 中高ときわ祭> 中止
- 2) 初春歌舞伎観劇会 <於: 国立劇場> (1月9日)
- 3) 母校記念品販売取り扱い

【広報部】

- 1) 「那与竹」第84号発行
- 2) 「なよたけ情報版」第27号発行
- 3) 実践桜会公式ホームページの管理・運営
- 4) 「那与竹」第85号の編集

【キャリアネット】

- 1) 総会・講演会はコロナの感染拡大により11月20日に延期
 - 2) 総会・渡辺美佐子氏の朗読会 (女優・卒業生) (11月20日 (土))
 - 3) セミナーを見学会に変更し4月16日に延期
 - 4) 見学会: 聖徳記念絵画館での絵画の鑑賞 (4月16日 (土))
 - 5) キャリアネット運営委員会・キャリアネット通信配信 (毎月第3土曜日)
- ※渡辺美佐子さん観劇会 (6月25日) のご報告 (詳細は11ページに掲載しております。)
- ※その他の行事はコロナの感染拡大の為に中止しました。

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産	36,942,220	41,772,061	△ 4,829,841
2 固定資産	232,741,630	242,876,824	△ 10,135,194
(1) 基本財産	27,966,601	27,966,601	0
(2) 特定資産	85,410,000	88,710,000	△ 3,300,000
(3) その他固定資産	119,365,029	126,200,223	△ 6,835,194
資産合計	269,683,850	284,648,885	△ 14,965,035
II 負債の部			
1 流動負債	4,309,319	5,887,366	△ 1,578,047
2 固定負債	53,370,000	56,790,000	△ 3,420,000
負債合計	57,679,319	62,677,366	△ 4,998,047
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	78,376,601	81,676,601	△ 3,300,000
2 一般正味財産	133,627,930	140,294,918	△ 6,666,988
正味財産合計	212,004,531	221,971,519	△ 9,966,988
負債及び正味財産合計	269,683,850	284,648,885	△ 14,965,035

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	30,741,685	28,045,682	2,696,003
(2) 経常費用	30,864,816	19,052,979	11,811,837
事業費	6,543,857	5,746,649	797,208
管理費	37,408,673	24,799,628	12,609,045
当期経常増減額	△ 6,666,988	3,246,054	△ 9,913,042
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,666,988	3,246,054	△ 9,913,042
一般正味財産期首残高	140,294,918	137,048,864	3,246,054
一般正味財産期末残高	133,627,930	140,294,918	△ 6,666,988
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△ 3,300,000	△ 1,380,000	△ 1,920,000
指定正味財産期首残高	81,676,601	83,056,601	△ 1,380,000
指定正味財産期末残高	78,376,601	81,676,601	△ 3,300,000
III 正味財産期末残高	212,004,531	221,971,519	△ 9,966,988

令和4年度 実践桜会奨学生

令和4年度選考委員会 (選考委員は各役員選出母体から推薦された4名と理事長、常任理事5名、計10名で構成) を3月に発足、ホームページでの一般公募と、昨年応募のあった大学にも募集をいたしました。コロナ禍3年目となりましたが、今年度の応募者は、大幅に多く、留学生83名 (内訳: 18大学院・9大学・7か国) でした。第一次書類選考と第二次面接選考を行い、本年度の実践桜会国際交流基金奨学生は大学院生3名、大学生1名に決定しました。



■ 霍雨佳 カク ウカ

中国 (河南省)
筑波大学
人間総合科学術院 人間総合科学術院
パブリックヘルス学位プログラム 博士課程2年

この度は、国際交流基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。
中国出身の霍雨佳 (カク ウカ) と申します。現在は筑波大学に所属し、健康社会学を勉強・研究しています。子どもたちの食育を中心に研究活動をしていて、食育を通して健康に暮らせる社会をつくることを目指しています。今後も、ご支援いただいた皆様への感謝を忘れず、感謝の気持ちを胸に、これからも努力を積み重ねていきます。



■ GAO HUIHUI コウ カイカイ

中国 (山東省)
東京工業大学大学院
生理工学院 ライフエンジニアリングコース
博士前期課程2年

私は微生物由来の免疫調節成分について研究しています。新型コロナウイルスが発生したことから、人々の健康をこのような脅威から守りたいと考え、現在の研究に至りました。具体的に、免疫調節作用のある有効成分を特定し、メカニズムを解明し、機能性食品素材としての利用を進めたいと思います。
将来は日本語と専門知識を活かし、高齢化、感染症などがもたらす日本と母国の共通の健康問題の解決に貢献したいと思っています。



■ 王赫 オウ カク

中国 (遼寧省)
青山学院大学
文学部 史学科 東洋史コース
4年

私は現在、ナラ林文化領域内の、火気煙道などに通すことにより部屋全体を暖める採暖施設の異同と影響について研究しています。
日本・中国東北部・朝鮮半島というナラ林文化領域において、類似する気候条件により共通する文化が存在していることは明かです。私は、この地域内の民俗的な文化の共通と相違について研究し、これから東アジア諸地域の施設と建築ないし言語・文化の繋がりを探求することにより、東アジアならではの伝統と魅力を広げようと思っています。



■ NINI ニ ニ

中国 (上海市)
東京大学大学院
学際情報学部 学術情報学専攻
文化・人間情報学コース 修士課程1年

NINIと申します。留学生として中国から来ました。現在東京大学学際情報学部文化・人間情報学コースに在学しており、修士一年生です。私はジェンダーと宗教祭祀について関心を持っています。研究テーマは、琉球王国時代における男子祭祀と祭祀における男女の役割に着目し、琉球神道におけるジェンダー秩序の再考です。古くから伝わる伝統とその継承のジレンマがどのような経緯で今に至ったのかについて研究を深めています。

【実践桜会奨学生】は実践女子学園の公募者から、本年度は大学生2名、高校生1名に決定しました。



■ 赤峰 理子 アカミネ リコ

実践女子大学
文学部英文文学科4年

私は実践女子大学での学生生活の中で、学業と課外活動の両方に力を入れて取り組みました。ゼミでは、社会とことばの関連性について日英の雑誌を用いて研究しています。また学園祭実行委員長や就職活動ゼミでのリーダー経験は、自身を大きく成長させることができた実感しています。
社会人になっても常に必要とされる人材を目指して、残りの学生生活ではIT知識や技術を身につけたいと考えています。



■ 大峰 望 オオミネ ノゾミ

実践女子大学
生活科学部食生活科学科4年

私は食科学を専攻し、食品分析学研究室では「食べられる花」について研究しています。食用花は綺麗な見た目から飾りの利用が多いですが、機能性成分を新しい付加価値として加えたいと思います。また、この研究と並行して韓国語の勉強に力を入れ、将来働く企業でメニュー提案の際に韓国の食文化に触れた提案をし、豊富な選択肢を提供したいと考えております。私が取り組む内容が食の多様性につながるような邁進します。

創立者下田歌子先生は、女子教育を通して近代女性の地位向上に尽力するとともに、歌人、国文学者、家政学者、社会事業家としても業績を残しています。

1901年から清国の留学生を受け入れ、1905年には後に革命烈士として名を馳した秋瑾女子も留学しています。

「実践桜会国際交流基金」は、当会会員の西山美穂子氏 (旧姓高田・昭和3年実践女子学校専門学部英文科卒) から「第二次大戦の体験を踏まえ、東アジアから日本に留学を希望する女性のために役にたてほしい」という強い要望を添えて遺贈された基

金に基づき、1994年に創設されました。

2004年からは当会会員の成田由子氏 (昭和28年実践女子大学英文科卒業実践女子大学名誉教授) から遺贈された基金を合わせて運営され、今年で27回目となります。

奨学生との交流会を令和5年3月4日 (土) に開催の予定です。参加ご希望の方は実践桜会にお申込みください。

告 知 板

♡結婚相談室♡

相 談 日：原則として毎月第2、第4土曜日
11：00～15：00
(新入会員の受付は、14：30まで)
4月10日/24日、5月8日/22日、6月12日/26日、
7月10日、8月28日、9月11日/25日、
10月9日/23日、11月13日/27日、12月11日、
1月8日/22日、2月12日/26日、3月12日/26日

休 室 日：12月第4土曜日

会 場：実践桜会会館

入会資格：本校卒業生及び卒業生のご紹介の心身共に
健康な男女

入 会 金：2万円、書類代：1千円

入会時に持参するもの：入会ご希望の本人直筆の履歴書
写真5枚(本人のみ、スナップ可)

☆秘密厳守で評判の良い相談室です。

☆詳細は相談日にお問い合わせください。

連 絡 先：TEL 03-3407-7459 (実践桜会会館)

実践桜会囲碁教室

“手談”（しゅだん）このことばをご存知だろうか。
囲碁の別称です。囲碁の対戦にはことばは必要なく、
一手一手の意味を予測し判断して石を置くことから、
碁石による無言の会話とも言われ、手で話しをする
という意味合いからそのように言われます。

老若男女に関係なく、外国人相手でも、だれでも、
いつでも、碁盤と碁石があればできるゲームです。

この時代にぴったりだと思います。“碁敵は 憎さも
憎し 懐かしきかな” 囲碁は楽しいものですよ。(M.Y)

・会 場：実践桜会会館 1階 102・103

・会 費：1回1,000円

・講 師：柳川 正興 (アマ6段)

・開室予定日：

2022年10/17、31 11/14、28 12/5、19

2023年1/16、30 2/13、27 3/13、27

開催時間は、12：00～15：00

変更になるかもしれません。

連絡先：一般社団法人教育文化振興 実践桜会事務

〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-40

電話03-3407-7459



囲碁教室風景2022.6

秋田先生の法律相談

桜会会員の皆さまを対象に、弁護士として豊富な経
験と実績をもつ秋田瑞枝氏（同窓生）による法律相談
です。毎月1回、実践桜会会館で行いますので、身の回
りの諸事お困りごとをお気軽にご相談ください。秘密
厳守をお約束します。

[相談室]

1.月1回、第2水曜日11時～16時

2.相談時間1回30分

3.休室 祝日・8月

[会場] 実践桜会会館 (渋谷)

[申込方法]

1.事前に電話で予約してください (先着順)

2.関係資料などは相談時にご持参
ください。

プロフィール●昭和40年実践女子学園高等学校
を卒業後、慶應義塾大学法学部法律学科に進学。
在学中に司法試験第2次試験に合格、昭和54年
港総合法律事務所（東京港区）開設、平成9年
ひのき総合法律事務所開設



【編集後記】

47年ぶりに歩く学校までの坂道は思いがけず軽やかだった。日野校通いを除いて8年間通学したこの坂道はなんであんなに遠
かったのだろう。生まれ育った渋谷で実践桜会の仕事をするのは、恩返しのお機もかもしれないと思っている年代だ。

桜会本部の大人世代は皆エネルギー溢れ、向学心を持ち続け、恐らく家庭運営も完璧にこなされているようにお見受けした。全
国の支部、科会からの入稿の速やかさにも驚いた。三年目のコロナ禍で今年こそ、と意欲的な支部と、第7波の懸念から自粛継続
の支部。そしていつも意欲的な科会。活動を制限されつつも、今を静かに凌ぎその繋がりを大切にしよう、という意識が垣間見ら
れるように感じた。かつての平凡な日常の幸せに改めて感謝し、コロナの終息を祈る。

(A.K)

編 集・発 行：一般社団法人教育文化振興 実践桜会

編 集・発 行人：大和恵子

〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-40

TEL：03-3407-7459 FAX：03-3499-0835

URL：http://www.j-sakura.org

広報部メールアドレス：jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

ゆうちょ銀行振替払込口座：東京00190-0-23848

転居された場合はご連絡ください。

印刷：株式会社ローヤル企画